

## 普及活動情勢報告（令和6年5月分）

高吾農業改良普及所

### 水稻の安定生産に向けて ～令和6年度斗佐耕楽会通常総会～



総会の様子

5月10日、土佐耕楽会通常総会が4名の役員参加のもと、集落活動センター「あおぞら」で開催されました。

普及所からは、いもち病の発生予測システムを活用した防除対策と近年発生が増加しているイネカメムシの防除対策について情報提供を行いました。

組織員からは、「病害虫の防除にはタイミングが重要なことがわかった。田の様子を確認しながら防除を行っていききたい。」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も巡回等を通して、組織が管理する田の安定生産を支援していきます。

### オクラの秀品率向上に向けて ～オクラ実証ほ設置～



オクラ実証ほ設置

5月13日、JA高知県日高支所オクラ部会が品種比較試験の実証ほを設置しました。

当部会では、イボ果等の生理障害果の発生による秀品率の低下が課題となっていたため、普及所及びJAから、生理障害果の発生が少ない品種「ジュピター」の情報提供を生産者に行い、今回の実証ほ設置に至りました。

生産者からは、「梅雨時期の秀品率が向上すれば、所得増加につながる。試験結果を見て、品種の検討を行っていききたい。」といった声が聞かれました。

普及所は、JAとともに定期的に調査を行い、出荷反省会等で試験結果を生産者に情報提供していきます。

### 越知町で農福連携体験研修開催 ～B型事業所がサンショウの収穫・箱詰め作業を体験～



サンショウの箱詰め作業体験の様子

5月14日、普及所が越知町の就労継続支援B型事業所どんぐり（以下「どんぐり」）の利用者と関係機関職員を対象としたサンショウの収穫・箱詰め作業の体験研修を開催し、どんぐり関係者5名と、関係機関職員12名が参加しました。

午前中に越知町山椒組合のほ場でサンショウ青実の収穫作業を体験し、午後から収穫したサンショウの青実約33kgの箱詰め作業を行いました。

越知町山椒組合からは作業の内容やスピードに問題はなく、今後はどんぐりに作業を委託する方向で協議を進める予定です。

普及所は引き続き作業委託について組合とともに検討を続けていきます。